

予 算 要 求 資 料

令和 2 年度 9 月 補正 予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 県立高等学校等在宅学習支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会事務局 学校支援課 教科教育第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3548)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 32,577 千円 (現計予算額：220,115 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	220,115	220,115	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	32,577	0	0	0	0	0	0	0	32,577
決定額	32,577	0	0	0	0	0	0	0	32,577

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・県内の感染状況を踏まえた県立学校の臨時休業期間中は、各学校では、児童生徒に対する課題プリント等の作成・配布やオンラインによる学習支援、加えて電話等の個別相談窓口を開設することにより自学自習を支援した。
- ・学校再開後も規則正しい家庭学習を支援するため、オンラインによる補習や面接指導、専用回線による個別の電話相談窓口を継続して設置する。

(2) 事業内容

- ・オンラインによる学習等支援を継続するため、端末やネットワーク環境に不都合のある生徒へ貸し出すタブレットの通信料を確保する。
- ・生徒・保護者からの学習の質問や心のケアに関する相談を受け付けるための専用回線を継続設置する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県立学校での取り組みであることから、県負担が妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	32,577	タブレット通信料、電話通信料
合計	32,577	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和2年4月10日付2文科初第87号「新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等に伴い学校に登校できない児童生徒の学習指導について（通知）」

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 オンライン学習支援を家庭で視聴できない児童生徒への対応や、オンラインによる補習・面接指導をすることにより更なる家庭学習の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>(前々年度末時点)</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症非常事態宣言による臨時休業、新型コロナウイルスの第2波、3波などへの備えに対する事業であり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルスの次波などへ備え、オンラインによる家庭学習等支援の充実を図る必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各校のニーズも踏まえ、円滑に事業が展開できるよう計画をしている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 遠隔教育実証研究事業へ本事業成果を活かし、更なる充実を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	